



末広(校長室だより)

千葉市立末広中学校 校長室だより第8号 令和8年6月5日発行

千葉開府900年 記念事業

＜千葉開府900年について＞ 千葉市ホームページより

令和8(2026)年、千葉市は、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えます。始まりは平安時代後期にさかのぼります。大治元1126年の6月1日に、桓武天皇のひ孫高望王(たかもちおう)(後に平高望)の子孫、常重(つねしげ)が、現在の緑区大椎町から中央区亥鼻付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗り、ここに千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。

千葉開府900年



＜千葉開府900年記念式典について＞

千葉開府の日の2026年6月1日(月曜日)に千葉開府900年記念式典が亥鼻公園で行われました。当日は強い日差しと30度を超える気温でしたが、千葉市長や千葉県知事をはじめ多数の関係者が出席する中、盛大に行われました。式典中の「未来を担う若者からのメッセージ」では、千葉市生徒を代表して本校3年生の大庭さんと菅原さんが登壇し、変化し続ける末広と共に成長する自分たち、そして地元への思いを力強く伝えました。



＜千葉開府900年記念授業について＞

今週、全学年において「千葉開府900年記念授業」を行いました。主な内容は以下のとおりです。

- ・千葉開府900年に関するロゴマークや人物について
- ・過去の千葉市の写真から千葉市の変化について
- ・千葉市の魅力について(アンケート結果より)
- ・千葉市の4つの地域資源について

(加曽利貝塚、オオガハス、千葉氏、海辺)

- ・千葉市の魅力が伝わるようなキャッチコピーを考える

～未来に伝えていきたい千葉市の魅力とは～

キャッチフレーズを考える際は、友人と意見を交わしながら楽しそうに取り組んでいました。千葉市の歴史と魅力を学び、未来の世代に向けて、自分自身に何ができるのか、どのように行動していくべきか等、考えるきっかけになったようです。



＜千葉開府900年記念給食について＞

6月4日(木)、千葉開府900年を機に千葉市の歴史や食文化への理解を深めてもらおうと記念給食ができました。千葉県産や千葉市産の食材を使ったメニューをおいしくいただきました。

☆当日のメニュー☆

ごはん、牛乳、いわしのカリカリフライ、紅白もち汁、ゆかりあえ、いちごゼリー、焼きのり

